

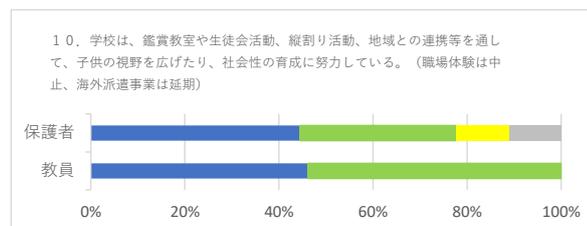
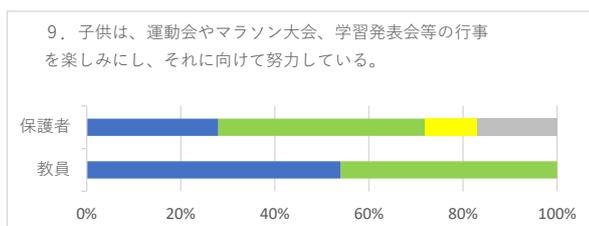
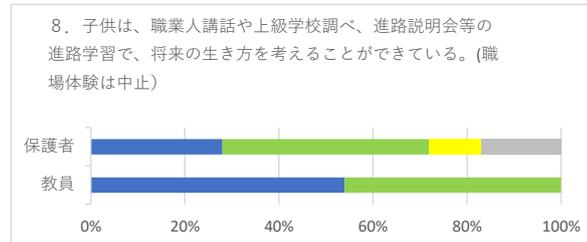
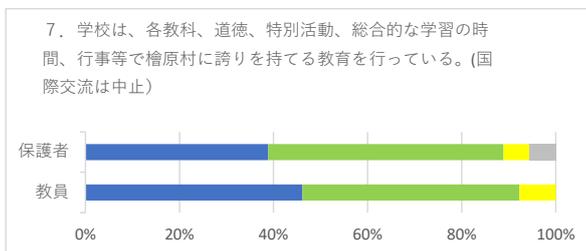
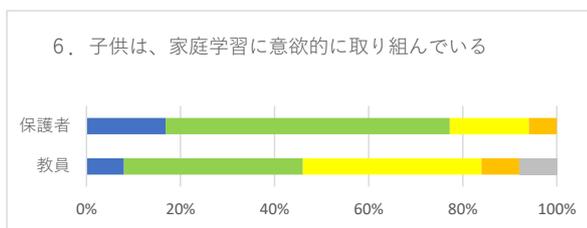
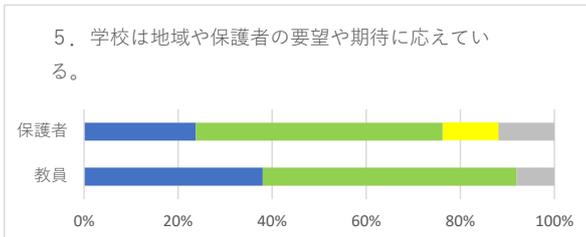
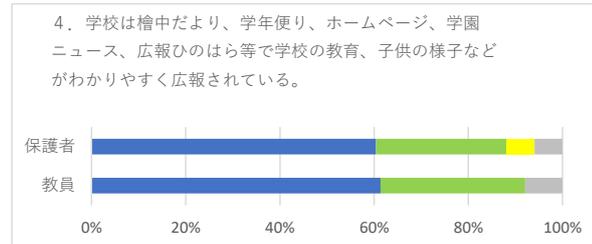
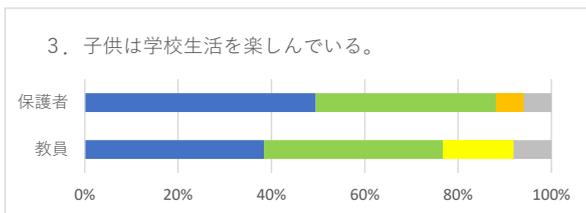
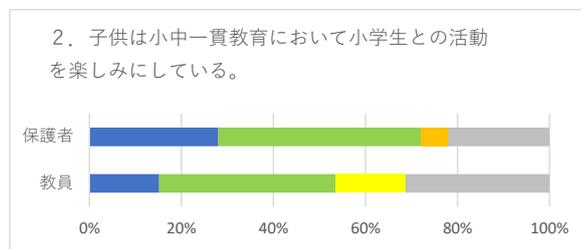
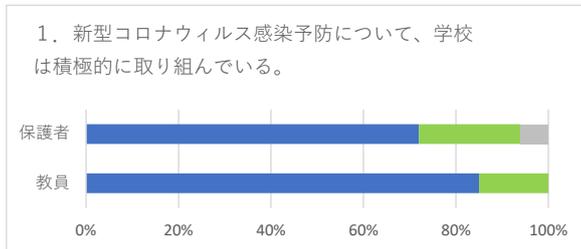
令和2年度 保護者・教職員アンケート 集計結果

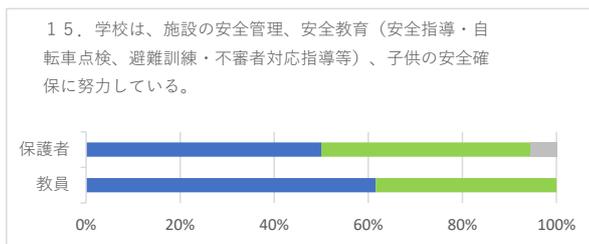
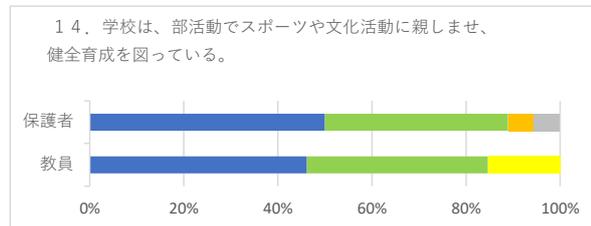
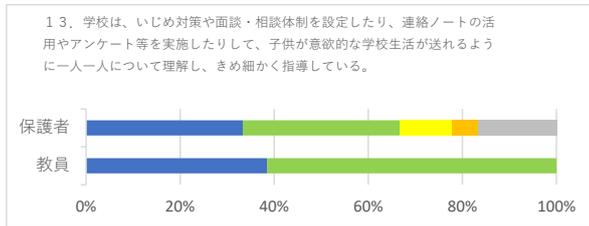
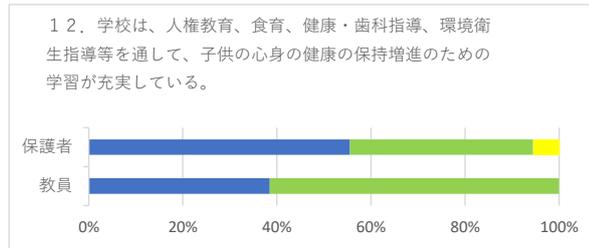
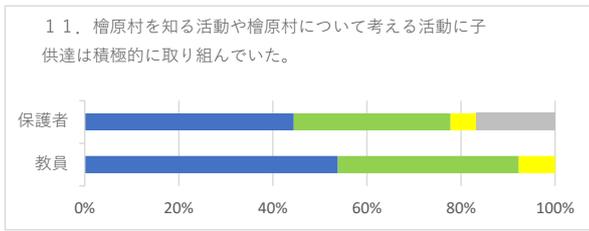
檜原学園檜原中学校 校長 森本 友明

寒さ厳しき折、保護者の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。日頃より、本校の教育活動にご理解ご協力いただき誠にありがとうございます。

昨年末、「保護者の皆さんの声を学校に」のアンケートをお願いしたところ、ご回答いただきありがとうございました。お子さんから感じることや、授業参観の折に見聞きしたことをもとに、本校の教育活動を評価し、真摯な回答にして返していただきましたことに感謝申し上げます。集計の結果をまとめましたのでご覧ください。教育活動の更なる充実・向上を図るためにこの結果を有効に活用させていただきます。ご協力ありがとうございました。

5 よくあてはまる 4 ややあてはまる 3 あまりあてはまらない 2 まったくあてはまらない 1 わからない・無回答





○学校に期待されること

・檜原は他の学校と比べると友人同士や先生との関係がとても近いです。それはいい点でもあるし、時には窮屈に感じたり、プレッシャーになったりしていると思います。自分を表現したり、みんなと少し違う事をする普通以上に浮いて見えてしまったり。檜中の先生方は本当に1人1人をよく見て下さっていていつも感謝です。ただ、答えは分かりませんが、少人数の学校特有のこのデメリットをうまく解消できる方法を保護者と一緒に考えて下さるとありがたいです。

- ・いつも子供のために色々してくださりありがとうございます。
- ・コロナで大変ですが、引き続き安全第一でご指導お願いします。
- ・SNS関連で、もし子供が関わっていることを学校が把握されたら、個別で構わないので話題が新しいうちに保護者にもご一報下さい。（今回は子供から聞きました）携帯電話やiPad等、子供に与えた時点で親の責任だと思っていますので。学校（先生方）の協力のもと、ちゃんと一緒に向き合っていかなければいけないな…と思っています。
- ・「将来何をしたいか」はきっと中学生ではまだまだ難しいと思います。これから進んでいく過程で見つけていくと思いますが、その選択肢というか、将来何になるかの枠を広げるために勉強していることを伝えて欲しいなと思います。
- ・飛び込んでいく勇氣、チャレンジ精神を育てて欲しいなと思います。檜原の子供たちはいろいろなチャンスを与えられてきているので、自分から進んで自分の意思でやるのが少し弱いように感じています。
- ・子供が檜原村の学校から他の地域の学校（高校・大学等）に行ったときに、自分に自信をもてるような教育の手助けをよろしくお願いいたします。

○学校より

学校経営方針の柱は次の通りです。

- 1 基礎・基本を確実に身に付け、確かな学力を育む学校
- 2 檜原村を愛し誇りに思い、豊かな人間性を育む学校
- 3 たくましく生きるための健康や体力を育む学校

<新型コロナウイルス感染予防について>

今年度のスタートは、3月から続いた休業で幕を明けました。休業中も生徒の学習習慣を持続させることを念頭に、できる範囲のことを教育委員会の協力のもと実施しました。5月からは、オンラインでのやりとりも始め、休業明けの再開を意識した取組を行ってまいりました。オンラインでの学習では、各ご家庭にご協力をいただいたことを感謝申し上げます。

学校再開後は、生徒一人一人がどこに行っても感染予防を自分で意識した行動ができるよう学校で指導してまいりました。校内では、換気、手指消毒、マスクを着用しての会話、ソーシャルディスタンスの確保などができるよう委員会なども活用して、生徒自ら呼びかけなども行いました。学校では、例年行えた行事も中止、もしくは内容を変更しなければいけないものが多く、生徒に本来の活動をさせられないでいます。少しでもできるものは実施したいと考えていますが、なかなか難しい状況が続いているのが現状です。

<小中一貫教育について>

今年度は、新型コロナウイルスの感染予防のため、小中学校の教員が全員集まって行う研修などはなかなかできませんでしたが、1学期末からは小中学校の教員がそれぞれ授業の交流を実施し、檜原学園の子供たちの教育について話を深めることができました。

また、檜原学園第三期計画は、保護者の皆様と教員へのアンケートをもとに策定し完成することができました。教員全体で共有し、次年度に向けて9年間を通して段階的に子供たちを育てていくための準備を始めたところです。

<キャリア教育について>

檜原中学校では、卒業後の進路に向けて1年生のときから段階的に指導を行っています。以前は進学指導に偏りがちでしたが、高校進学後の中退者、フリーターの増加がきっかけで、将来について考えながら自分の進路について考える形に変わってきました。各学年の内容は次の通りです。

1 学年 目標：「自己を見つめ、自己の在り方・生き方を考える」

自分を知ることから始め、様々な職業の人の話を聞いたり、調べたりします。

2 学年 目標：「望ましい職業観・労働観を育てるとともに、進路に関する知識・情報の収集」

職場体験を通して仕事をする上でのマナーや大変さを学び、後半は上級学校について調べ自分の卒業後の進路について考えます。

3 学年 目標：「進路選択への自己実現」

自己理解を深め、自分にあった進路について保護者の方の意見を参考に進路を決定していきます。

また、進路に向けた学習はもちろんのこと、様々な事務作業や面接の練習も行っています。

以上のような内容で3年間キャリア教育を行っています。小さいときから同じ仲間たちとの生活が長い檜原学園の子供たちにとって、卒業後の進路先で初めて檜原村を出ている色々な人と接することになります。どのような状況の中でも自分の良さを出せるようにすることも大切なことです。これからの時代は、ただでさえ予想ができない困難がたくさん待ち受けていると言われています。そのようなときでも困難に立ち向かい乗り越えていけるよう、今年度から「檜原村の未来について考える」力の育成を始めました。自分たちの育ってきた檜原村について調べ良い点や課題について考えることで、自分の目の前の課題についても考えられる力を育てたいと考えています。

<SNSについて>

最近のスマートフォンやパソコンの普及のスピードはとても早く、また、新型コロナウイルス感染の状況において自宅で過ごす時間が増えたことも影響して、SNS等の活用が多くなっているようです。どこでも手元で操作できるスマートフォンは便利ですが、子供たちがどのように活用しているのかはわかりづらくなるばかりです。人とのコミュニケーションが上手にできない子供たちが発信するものの中には大人からみてはっとするものも多くあります。学校と家庭とで正しい使い方ができるように子供たちを導いてあげたいと思っています。学校からも情報は流しますが、ご家庭からも心配なことがありましたらご連絡ください。

<家庭学習について>

家庭学習を行えるようになることは、檜原の子どもたちに限らず中学生にとってとても大切なことです。受験のためだけでなく、これからの世の中を生きていく上で大切になってくるのが自学自習ができる力です。自分で学習を始めるにも何をどのように学習していけばよいのかわからないと勉強を始められません。また、一人で勉強していくために教科書や参考書が理解できる力を備えることも大切です。このような学習の基礎となる力を身に付けるためには、日々の積み重ねが大切になります。

檜原中学校の生徒は、学校にいるときには授業にも、係や委員会活動にも、行事や放課後の部活動も、一生懸命、真剣に取り組んでいます。何事にも一生懸命取り組める生徒だからこそ、人に言われるからやるのではなく自分自身ですすんで行動できる生徒になって欲しいと思います。学校でも様々な方法で指導を継続していますが、ご家庭においても時間の使い方など親子で話していただくと良いかと思います。ゲームの時間が多く心配されているご家庭もあります。一方的に止めさせるのではなく、自分から時間をコントロールできるようお話しをお願いします。自分で学習できる時間を持つようになったお子さんはどんどん伸びていきます。学校と家庭とで連携・協力して子供達をサポートできるようご協力をお願いします。